



## 意見交換会実施報告書（議長報告用）

開 催 日 時	令和 7年 5月 9日（金） 14：30～15：15
開 催 場 所	飯野学習センター 3階ホール
出席議員及び 役割分担	座 長：鈴木正実 司 会：二階堂利枝 班 員：丹治誠、宍戸一照、羽田房男、三浦由美子、遠藤幸一 小松良行 記録者：佐藤勢
参 加 人 数	12 人
意見交換会の概要	<p>Q1：（1）学習センターの使用 방법이、各センターで統一されていないため、分かりづらい。</p> <p>（2）学習センターの体育館には、暖房のみで冷房がないところがある。空調設備を整えてほしい。</p> <p>A1：（1）各学習センター使用や利用管理等については、使用する際に学習センターに直接相談をお願いしたい。</p> <p>（2）空調に関しては、今年度から避難所にもなる小中学校の体育館にエアコン設置を進めている。その後、学習センターの体育館の空調整備も、順次進めるよう当局に伝える。</p> <p>Q2：（1）以前、地元で開催した議会報告会で質問した際、議事録にまとめて報告するとの話であったが、報告がなかった。どのようなになっているのかお聞きしたい。</p> <p>（2）議会報告会の参加者が少ない。開催の広報が足りないのではないか。</p> <p>（3）本市の文化財である和台遺跡の保存活用計画について、その後の計画策定・進ちょく状況について教えてほしい。</p> <p>A2：（1）議事録報告については、本市議会事務局ホームページ上にアップし報告としているため、ホームページをご確認頂きたい。</p> <p>（2）新聞広告や各支所にチラシ配布、またホームページ上でも</p>

	<p>掲載しているため、ご理解を頂きたい。</p> <p>(3) 担当課に質問があった旨、伝える。</p> <p>Q3：福島市議会の概要 p 11 について、他市町村から本市に来られた行政一覧だけでなく、本市議会がどこの市町村に視察に行ったのか教えてほしい。</p> <p>A3：各常任委員から視察に行った市町村および視察目的について、報告を行った。</p> <p>Q4：除染土の活用など原発事故処理の理解を促すため、福島市の状況を視察に訪れた市町村でもっと発信してほしい。</p> <p>A4：他市町村へ視察に行った際には、挨拶のなかで東日本大震災、福島第一原発事故の現況と復興状況、支援についての感謝などを伝えている。また避難者の受け入れがある場合には、お礼を申し上げ、一層の理解を求めている。</p> <p>Q5：本市の子ども食堂の状況について教えてほしい。</p> <p>A5：現在、本市では約50団体が運営されている。ホームページ上には、福島市子ども食堂ネット事例等も掲載されているため、参考にして頂きたい。</p> <p>Q6：市営住宅について、借りていても住居実態が確認されない世帯があり、町内会としては困っている。本市として、どのように考えているか教えてほしい。</p> <p>A6：担当課に質問があった旨、伝える。</p>
--	--

令和 7年 5月 22日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会 1班 班長 鈴木 正実

## 議会報告会実施報告書（議長報告用）

開催日時	令和7年5月8日（木） 18:00 ～ 18:30
開催場所	吾妻学習センター 2階研修室
出席議員及び 役割分担	班長：川又 康彦 副班長：石山 波恵 司会：石山 波恵 報告者：（総務） 二階堂武文 （文教福祉） 半沢 正典 （経済民生） 後藤 善次 （建設水道） 黒沢 仁 （複合市民施設に関する調査特別委員会） 村山 国子 （議員定数に関する調査特別委員会） 半沢 正典 記録者：高木 克尚
参加人数	5 人
議会報告会の 報告に対する質疑	報告に対する質疑については、意見交換会にて伺っているため、「意見交換会の概要」に併せて記載しております。

令和7年5月22日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会  2  班 班長  川又 康彦

## 意見交換会実施報告書（議長報告用）

開催日時	令和7年5月8日（木） 18:30 ～ 19:15
開催場所	吾妻学習センター 2階研修室
出席議員及び役割分担	<p>班 長：川又 康彦  副班長：石山 波恵  班 員：二階堂武文 半沢 正典 村山 国子  黒沢 仁 後藤 善次  記録者：高木 克尚</p>
参加人数	5 人
議会報告会の報告に対する質疑	<p>Q 1：上下水道局設置条例が制定されたがその姿について聞きたい。  A 1：全国で頻発する大規模な自然災害に備え、上下水道施設の一体的な老朽化対策や持続可能な経営基盤の強化等を図るため、令和7年度は市長部局側と公営企業側にそれぞれ「上下水道局」を併置、令和8年度から公営企業として一体運営する。</p> <p>Q 2：偕楽亭保存活動で「高德碑」の消防本部敷地内存続に感謝する。県都の姿として偕楽亭の歴史を語り継ぐ必要がある。すばらしい福島市の名所を存続させることに力を貸していただきたい。  A 2：意見として承る。</p> <p>Q 3：今日の議会報告会参加者数が少ないが分析はされているのか。  A 3：春季と秋季に4班体制で昼夜時間帯並びに開催曜日に工夫している。</p> <p>Q 4：駅東口への高額な投資について、市民の理解は得られているのか。若い人の本音を聞く機会が不足していないか、幅広い市民の意見を聞くことは大切である。次世代への責任は重く、借金を残すことだけになるのは不幸である。若い世代の関心を引き出す施策が必要であり、一端白紙に戻すべきでないか。  A 4：予想もできない状況が事業の停滞を招いており、使用不能の市公会堂代替施設としての模索でもある。各地区18回の意見交換会と19回の出前講座を実施してきている。市民に愛され利用される施設が最大の目標であり、負の遺産とならないよう努める。</p> <p>Q 5：ゴミ置き場における排出ルールが守られず、地域や町内での分別は違法となることから、違反ゴミの対応策をさらに徹底しないと美化向上は図れない。  A 5：分別の意識向上が条例改正の目的であり、市民の皆様の規則の理解度を図ることが重要。</p> <p>Q 6：ポテンシャルが低下している福島市にあって、対処療法にしか見えない再開発は、手段であるはずが目的になっている本末転倒の</p>

	<p>状況。議会の役割が発揮されていないように見え心配である。イオン伊達の消費目標 500 億円の内福島市消費 250 億円と試算されていることから、戦略の見直し時期である。駅が活性化しなければ再開発は成立しないことから、駅の誘客施策を最優先することを JR・福島交通・阿武隈急行の自覚を促すべき。</p> <p>現在の都市政策は 20 年前の姿であり、議会の厳しい目に期待する。</p> <p>A 6：貴重な意見として承る。</p> <p>Q 7：ゴミ減量化としての「キエーロ市民活動」を普及するため、事業者や企業とのネットワークを図ってはいかが。市民の責務をもっと自覚できるよう説明すべきであり、具体的な役割を議会からも発信してほしい。</p> <p>A 7：意見として承る。</p> <p>Q 8：福島市民が誇りを感じる文化行政に通ずるために、旧日本銀行や古関裕而生家などを復元して、街中回遊に繋げることが必要。</p> <p>A 8：意見として承る。</p> <p>Q 9：城址公園として「紅葉山公園」の価値を発信すべきである。</p> <p>A 9：所管は福島県であるが意見として承る。</p>
--	--

令和 7 年 5 月 22 日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会 2 班 班長 川又 康彦



## 意見交換会実施報告書（議長報告用）

開催日時	令和7年5月10日（土） 14:30～15:15
開催場所	もちずり学習センター 2階ホール
出席議員及び 役割分担	<p>座長： 根本 雅昭</p> <p>司会： 山田 裕</p> <p>班員： 小野 京子、尾形 武、大平 洋人、 佐原 真紀、浦野 洋太郎</p> <p>記録者： 佐原 真紀</p>
参加人数	30人
意見交換会の概要	<p>1 人口減少対策について</p> <p>Q：人口減少対策について、具体的対策を教えて欲しい。</p> <p>A：全国的な多くの要因や若者の都会への流出によって、人口減少が加速している状況である。少子高齢化が進行する中で、この問題は全国の自治体共通の課題となっており、深刻に受け止めている。そうした中、若者の定着を図るため、市街地の活性化をはじめ、若者にとって魅力あるまちづくりや子育て世代への支援などに重点的に取り組んでいる。</p> <p>2 教育環境について</p> <p>Q：令和7年度の教育関連予算はおよそ7億円ほどである中、学校環境を整えることは子育て環境を整えることにもつながるが、体育館のエアコン設置には学校の断熱も同時に必要であり、さらに安全のための防犯対策やハード面だけでなくソフト面の充実、そして学校の再編も必要であると考えているが、見解を伺いたい。</p> <p>A：学校の再編や統廃合と同時にソフト面の拡充を要望しているが、先生の人材確保と働く環境の改善にも力を入れ、県とも連携してまいる考えである。</p> <p>3 教員数について</p> <p>Q：東部地区に新しい世帯が増えることで先生が足りなくなるのではと危惧しているため、対策をして欲しい。</p> <p>A：教員の確保に向けて、議論してまいりたい。</p> <p>4 待機児童対策について</p> <p>Q：待機児童ゼロとは言っても、保護者の努力や協力があって実現していると考えているが、東部地区の開発行為に伴い若い世代が多くなると予想される中、待機児童が増加することな</p>



く、子育てしやすい住みよい地区となるよう、取り組んで欲しい。

A：待機児童は、人工知能の活用等で大きく改善しているが、保護者の皆さまのご意見やご希望をしっかりと聞きながら取り組むよう当局に求めており、ニーズに沿った保育体制の強化をしている。東部地区においても、受け入れ体制を含めた保育体制を整えられるよう、注視してまいりたい。

#### 5 東口の再開発について

Q：駅東口の喫煙所は撤去または閉鎖して欲しいが、移設するのに多額の予算を投入するのはいかがなものかと考えるが、再開発の話し合いの際に傍聴できなかつたり、ファシリテーターへの予算が高かつたり感じているため、見解を伺いたい。

A：議会としても、市民の方々に丁寧に説明するよう、当局に求めてまいりたい。

#### 6 ごみ問題について

Q：分別されていない違反ごみの扱いについて、町内会まかせにせず、対策に向けて行政でも力を入れて欲しい。

A：ごみの出し方は町内会毎に対策を取っていると聞き及んでいるが、不法投棄の根絶に向け、改正された条例も含めて周知するよう力を入れてまいりたい。

#### 7 高齢者の足の確保について

Q：高齢者に幅広く対応する施策が世の中を変えると考えているが、足の確保を今後どうするのか、シルバーパスポートのあり方も含めて当事者目線で考えて欲しい。

A：高齢者の視点を踏まえ交通手段の多様化を進めるため、より使いやすい公共交通の維持・整備や、ライドシェア等の新たな仕組みを提案してまいりたい。

#### 8 シルバーパスポートについて

Q：一年に2万円では全く足りず、通院や買い物等での利用を考慮しながら高齢者の社会参画に向けた取り組みを促すためにも拡充し、その利用方法をアンケート等で分析しながら取り組んで欲しい。

A：ご意見として承るが、今後の状況は注視してまいりたい。

#### 9 本市の予算編成について

Q：予算編成にあたっては、今必要な、最優先事項をしっかりと盛り込んで欲しい。

A：会派毎等に予算要望をしているが、要望や議論を引き続き行

	<p>ってまいりたい。</p> <p>10 ふるさと納税について</p> <p>Q：本市のふるさと納税が年間20億円を超え県内トップとなっているが、その財源で福島市民が楽しめる施設を造る等、有効に活用して欲しい。</p> <p>A：議会としてもしっかり注視しながら、市民に還元される形で有効に活用するよう求めてまいりたい。</p>
--	---

令和7年5月23日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会 3班 班長 根本 雅昭

## 議会報告会実施報告書（議長報告用）

開催日時	令和7年5月8日（木） 14:00 ~ 14:30
開催場所	北信支所 2階大会議室
出席議員及び 役割分担	班長：沢井 和宏                      副班長：高木 直人 司会：高木 直人 報告者：（総務）菅原 美智子、（文教福祉）佐々木 優 （経済民生）七島 奈緒、（建設水道）斎藤 正臣 （複合市民施設に関する調査特別委員会）真田 広志 （議員定数に関する調査特別委員会）高木 直人 記録者：渡辺 敏彦、石原 洋三郎
参加人数	30人
議会報告会の 報告に対する質疑	報告に対する質疑については、意見交換会にて伺っているため、「意見交換会の概要」に併せて記載しております。

令和7年5月23日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会 4班      班長 沢井 和宏

## 意見交換会実施報告書（議長報告用）

開催日時	令和7年 5月 8日（木） 14:30 ~ 15:15
開催場所	北信支所 2階大会議室
出席議員及び 役割分担	<p>座長：沢井 和宏          司会：高木 直人          班員：菅原 美智子、佐々木 優、七島 奈緒、斎藤 正臣                真田 広志、渡辺 敏彦          記録者：石原 洋三郎</p>
参加人数	30人
意見交換会の概要	<p>1. 先達山のメガソーラーについて          Q：条例が制定されたが、先達山のメガソーラーはどのようになるのか伺う。          A：条例は、新たに設置されるものに対して適用される。先達山は既存の設備であるが、報告などの義務はある。</p> <p>2. ごみ問題について          Q1：（意見）ルールを守れない人に対しては、しっかりと指導すべきである。黄ラベル・赤ラベルの添付後に開封確認をする方針であるが、しっかりと機能していない。ごみの山となっている箇所があるので、しっかりと改善指導をしてほしい。          Q2：飲食店などに対する指導はどうなっているのか、伺う。          A2：市役所の方から、お店に対して電話をしたり、訪問等をしている。又、お店は指導に従っていると思うが、従わない場合には、市ホームページなどで、公表される。          Q3：福島市は、本当に同程度規模の都市で排出量ワースト1位なのか、疑問である。事業者が気をつけるべき内容を、各家庭にまで押し付けているのではないのか、伺う。          A3：ごみの排出量のデータについては、確かにその根拠の精査が必要である。ごみ問題については、事業者が気をつけるべきであり、各家庭は努力義務である。          Q4：ごみ袋の開封の実績はあるのか、伺う。住民はかなり、心配している。          A4：実績はないと思う。</p> <p>3. 議会図書室について          Q：議会図書室は一般の方は使えないのか、伺う。          A：申請・受付すれば、閲覧はできる。</p>

4. 市立図書館について

Q1：新たな市立図書館の計画について伺う。

A1：検討会が設置され、答申が出たが、数年経過し、街のあり様も東口再開発など、大きく変わってきている。現在、大きな見直しが必要だと思われる。

Q2：住みたい街ランキングの上位は、必ず図書館のクオリティが高い。

A2：福島市も県立図書館だけではなく、クオリティの高い図書館を整備して欲しい。

5. 東口再開発について

Q：(意見) 東口駅前の喫煙所の変遷、傍聴希望者に対する不手際、ワークショップの在り方などの観点から、東口再開発は失敗すると思う。とは言え、600億円規模の事業なので、良いものを作って欲しい。

6. 福島市の教育・文化について

Q1：福島市の人々の人柄は素晴らしい。そのために、福島市に住みたいと思ったが、子どもたちに対する教育に関して、どうするべきと考えるのか、伺う。

A1：福井市などでは、子どもたちが、郷土に対して誇りを持っており、不登校児童生徒も少なく、学校に対して楽しいと感じている。福島市の各地域の特色を活かしながら、知育・徳育・体育・食育をベースに、郷土に対して愛着が持てるような教育を行うべきである。

Q2：(意見) 福島市は県都である。戊辰戦争で町を守った先人たちがいて、蚕糸で賑わっていた。偕楽亭などもあった。子どもたちが歴史に対して誇りに思えるように、次世代につないでいける町づくりをして欲しい。

7. 立子山の処分場について

Q：(意見) 処分場は山を切り開いて、造成している。ごみの量を減らすことは、新たな山の切り崩しの減少につながる。市民に対して啓発して欲しい。

8. 議員の発信について

Q：(意見) 各議員の発信を、もっとして欲しい。

9. 瀬上町内水氾濫区域について

Q：(意見) 揚水ポンプの充実強化を図ってほしい。

10. 福島市の観光について

Q：destination・キャンペーンなどマーケティングを図りながら取り組んでほしい。特に、高倉山の案内看板を整備して欲しい。

A：観光協会に、伝えておきます。

	<p>1 1. 子供たちの思い出となる場所について  Q：(意見) 児童公園は駐車場が足りない。四季の里は木陰がなく、平日は寂しい。市民センターの遊び場は小規模すぎる。改善して欲しい。</p> <p>1 2. 議会規則・運営などについて  Q 1：電子採決システムの採決結果の公表の表記については、各会派ごとではなく、各議員ごとにしてほしい。  A 1：会派内で採決が割れることはあるので、割れた場合は、その会派については各議員ごとになる。</p> <p>Q 2：傍聴している際に、傍聴人が私語をすると注意される。しかし、私語をしている議員もいる。議員の場合はどうなのか、伺う。  A 2：議員も私語などをしていると、議長から注意を受ける。</p>
--	--

令和7年 5月 23日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会 4班 班長 沢井 和宏